

日本機能性香料医学会誌 **機能性香料医学**

日本ヘルスケアプロダクツ研究会誌 **ヘルスケアプロダクツ**

投稿規定

日本機能性香料医学会・ヘルスケアプロダクツ研究会合同編集委員会

令和三年十一月十一日改定

概要

『機能性香料医学』の投稿論文は、「原著論文」、「短報」、「総説」、「症例報告」、「その他」に分類しています。これらについては以下の投稿規定に従って投稿論文をご作成ください。掲載にあたっては査読意見に基づく修正、改変プロセスを経て編集委員会が採否を決定いたします。上記に該当しない原稿の場合は、編集委員会で検討の上、掲載について決定いたします。

投稿内容

本誌への投稿原稿は、下記の2項目の何れかに係るものとします。

①香料（精油などの天然香料を含む）の機能性とその関連領域の学術的および臨床的進歩に寄与する学術論文を主体とし、他誌に掲載されていないもの、または掲載予定のないもの。尚、日本機能性香料医学会では、機能性香料の定義を「機能性香料とは、心身あるいは環境に変化を与えることを目的とする匂いそのもの、あるいは匂いを構成する成分である。」と定義していますので、においを嗅ぐことによる人や動物への変化や、悪臭の防止などの環境を改善するために用いられるにおいなど幅広い分野からの投稿をお願いします。

②ヘルスケアに係る製品、方法など、いわゆるヘルスケアプロダクツに関する関連領域の学術的および臨床的進歩に寄与する学術論文を主体とし、他誌に掲載されていないもの、または掲載予定のないもの。尚、ヘルスケアプロダクツとは「健康に関係する諸所の製品あるいは手法」のことを指しますので、本誌については健康にかかわる周辺分野（医学、看護学、獣医学、リハビリテーション学など）を含む包括的な学問領域に関して幅広い原稿を受け付けております。

倫理上の配慮

投稿論文においては、各種の倫理的規範を遵守していることを要します。また所属する施設等の倫理審査委員会またはそれに準じる機関の承認を得ている場合は、その旨明記してください。

利益相反及び公的研究費

研究に利益相反の可能性がある場合（企業等からの研究助成金や寄付金の受け入れ、実験機器の提供、コンサルタント料や謝金、特許等の知的財産権など）は、原稿本文の最後に利益相反について記載をしてください。また、公的研究費を用いた研究の場合は、文末に記載してください。

投稿資格

投稿論文の筆頭著者は原則として日本機能性香料医学会およびヘルスケアプロダクツ研究会の正会員とします。ただし、別途査読料金を納めた場合は準会員または非会員の投稿も可能とします。また、編集委員会の求めに応じて投稿した原稿（総説等）については、上記を満たす必要はありません。共著者については日本機能性香料医学会およびヘルスケアプロダクツ研究会の会員であることを問いません。

投稿費用

正会員：10,000 円

準会員：15,000 円（査読料 5,000 円を含む）

非会員：35,000 円（査読料 25,000 円を含む）

※ただし、編集委員会の求めに応じて投稿した原稿については無料とします。

原稿の投稿区分

投稿区分は「原著論文」、「短報」、「総説」、「症例報告」、「その他」とし、その概要は以下の通りです。

原著：目的、方法、結果、考察、結論が明確な基礎および臨床的研究の論文とします。

短報：新しい発見や概念、方法、アイデア等について簡潔に発表する論文を短報として扱います。

総説：国内外の文献等をもととして論考した論文については総説として扱います。

症例報告：新たな知見を提供する小数例での研究などについては症例報告として扱います。

その他：調査報告、レポート、体験談などについて、上記に当てはまらないもの。

著作権について

本誌に掲載後の著作権は、日本機能性香料医学会またはヘルスケアプロダクツ研究会に帰属します。また、掲載後の原稿は、メディカルオンライン等の文献情報データベースに掲載される予定ですので、あらかじめご承知ください。

査読及び採否

掲載の採否は査読を経て編集委員会または理事長の決済により決定いたします。掲載順序等の誌面編集に係る決定についても同様といたします。また、採択となった場合の著者校正は原則として1回とします。所定の期限（2週間）以内に返信が無かった場合には、論文の掲載号が変更されることがあります。

別刷り

本誌は電子出版によって出版されますが、印刷の希望がある場合、著者の費用負担で別刷りを提供します。

投稿原稿の送付先

投稿原稿は、別途定める執筆要綱に従って作成を行い、投稿用のウェブサイトから投稿してください。

原稿投稿先 URL :

<https://jmaff.org/sub>



上記 QR コードからもアクセスできます。

お問合せ先

その他、投稿に関するお問い合わせについては、メールにてお問い合わせください。

問い合わせ先メールアドレス :

info@jmaff.org

執筆要綱

日本機能性香料医学会・ヘルスケアプロダクツ研究会 合同編集委員会

令和三年十一月五日改定

執筆言語

論文は和文または英文とします。英文の場合は、ネイティブチェックを必ず受けてください。

投稿の際の電子書式等について

本文

本文は、Microsoft 社の Word (Office 2013 以降) を使用して作成してください。

図表

論文に用いる図表については、Word 内で 350dpi 以上の解像度の図表データを用いて提出してください。また、各種の図表はそれぞれの図表にタイトルをつけた上で、出現順に図 1、図 2 のように通し番号をつけてください。図表の下には必ず図表の説明文を記載してください。

フォント等

本文の文字の大きさは、MS 明朝体または MS P ゴシック体とし、サイズは 10.5 ポイントとします。その他、書式は専用の投稿用フォーマットを用いて作成してください。

数式記載

数式を記載する場合、Microsoft 数式を使用してください。

ページ番号

本文には、必ずページ数を中央下に記載してください。

文体並びに句読点について

文体は、簡潔で分かりやすく記述し、読者に誤解を与えないよう配慮してください。文体は基本的にはである調を用いて作成しますが、体験談等についてはその限りではありません。また、読点は全角の「、」を使用し、句点は全角の「。」を用いてください。

漢字使用について

漢字は常用漢字のみを使用してください。ただし、専門用語などにおいて常用漢字以外の漢字を用いる必要がある場合はその限りではありません。

数字および欧文について

本文や図表における数字および欧文については、原則として半角文字を使用してください。また量記号については欧文書体のイタリック体 (斜体) を用いてください。

投稿時の必要事項について

論文の本文とは別に、下記の内容を記載してください。

タイトル、英文タイトル、ランニングタイトル、英文ランニングタイトル、論文キーワード、英語キーワード（何れも5語以内）、論文種別（「原著論文」、「短報」、「総説」、「症例報告」、「その他」から1つを選んでください。）、著者、著者所属、筆頭著者連絡先（メールアドレスおよび電話番号）

また、投稿フォームよりダウンロード可能な投稿用テンプレートもご活用ください。

論文本文の構成について

原則として以下の構成としますが、倫理条項、謝辞、利益相反等の記載については投稿規定に準じてください。

原著論文の場合

本文は、「要旨（邦文 500 字以内、英文は 400word 以内の両方を記載してください）」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「参考文献」、「図表」の順序として作成してください。本文の字数は 4000 字以上、15000 字以下とします。（図表は1つあたり 400 字として換算します。）

短報の場合

本文は、「要旨（邦文 500 字以内、英文は 400word 以内の両方を記載してください）」、「目的」、「方法」、「結果と考察」、「結語」、「参考文献」、「図表」の順序として作成することが望ましいですが、短報の場合は文字数が限られるため、この限りではありません。本文の字数は 4000 字以下とします。（図表は1つあたり 400 字として換算します。）

総説の場合

本文は、「要旨（邦文 600 字以内、英文は 500word 以内の両方を記載してください）」、「本文」、「参考文献」、「図表」の順番で作成してください。ただし総説は特定分野の主要な研究内容等の総覧ですので、分かりやすい表現、順序を心がけていただければこの限りではありません。本文の字数は 20000 字以下とします。（図表は1つあたり 400 字として換算します。）

症例報告の場合

本文は、「要旨（邦文 500 字以内、英文は 400word 以内の両方を記載してください）」、「緒言」、「症例」、「考察」、「結語」、「参考文献」、「図表」の順序として作成してください。本文の字数は 10000 字以下とします。（図表は1つあたり 400 字として換算します。）

その他の場合

総説に準じますが、文字数は自由とします。また手記等のように、特別の様式が必要となるものについては編集委員会および理事長の決済によって掲載の可否を判定しますので、別途お問い合わせください。

引用等について

論文の中で、他の著作物およびその一部を使用する場合には、その出所を明記してください。尚、下記も参考としてください。

著作権法

第三十二条 公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究、その他の引用の目的上、正当な範囲内*で行

なわれるものでなければならない。

2 国もしくは地方公共団体の機関、独立行政法人または地方独立行政法人が一般に周知させることを目的として作成し、その著作の名義の下に公表する広報資料、調査統計資料、報告書、その他これらに類する著作物は、説明の材料として新聞紙、雑誌、その他の刊行物に転載することができる。ただし、これを禁止する旨の表示がある場合は、この限りでない。

引用（参考文献）書式

本文中の引用箇所については、⁽¹⁾、⁽²⁾ のように明記してください。

また、論文の末尾に参考文献の項目を設け、下記の規則に従って記載してください。

1) 雑誌を引用する場合

著者名、表題、雑誌名、巻（号）：開始ページ-終了頁 発行年の順に記載してください。

その際、著者数が3名を超える場合は3名までを記載し、残りは省略してください。

例：Jimbo D, Kimura Y, Taniguchi M, et al. Effect of aromatherapy on patients with Alzheimer's disease. *Psychogeriatrics* 9(4):173-179, 2009.

例2：神保太樹、福沢 嘉孝、草野 詠子、他 ラベンダーの再発見 *Aromatopia* 27(3), 46-49, 2018.

2) 書籍を引用する場合

著者名、出版社名、書籍名、引用箇所の開始ページ-終了頁、出版年の順に記載してください。

ただし、教科書など編著者と執筆者が異なる場合は著者名の後に引用箇所を執筆する者を記載してください。

例：小林 祥泰 新興医学出版社、脳疾患によるアパシー(意欲障害)の臨床 161-163, 2008.

例2（引用箇所の執筆者が編著者と異なる場合）：深津 亮、斎藤 正彦（神保太樹、浦上克也） ワールドプランニング社、くすりに頼らない認知症治療〈2〉—非薬物療法のすべて、85-100, 2009.

3) WEB サイト等を引用する場合

著者名、WEB ページの題名、WEB サイト等の名称、URL の順番に記載してください。

ただし、ガイドライン等、他の形で引用可能な場合は、できる限り WEB サイトの引用は避けてください。また、特定の企業等の利益相反性のある WEB ページの引用は不可とします。